

### 行ってきました

『沖縄 見て歩記』

林 知子

2月12日、日本全土から集まったツアーの一行は、11時に那覇空港で集合しました。羽田から、セントレアから関空から伊丹から札幌から、そして私は神戸から。一行は、47人の大所帯でした。沖縄の現状を見て、できる限りの支援をしようというツアーです。内容は、平和コンサートと沖縄視察です。

コンサートの行く前に、瀬長亀二郎さんの記念館に立ち寄りしました。「不時着」と報道されたオスプレイの墜落現場の写真は、まさに墜落、アメリカ兵一人が行方不明だと言っていました。もちろん、発表はされていません。

コンサート会場は、那覇大学。250人を越える観客でした。沖縄に平和をの趣旨でのコンサートは、横井さんだけでなく、淡路島で活躍している花こまさんグループ。そして、地元の演奏家8グループと多彩な出演者たち。予定時刻を30分も越える熱演でした。このコンサートの収益は、辺野古の戦いで捕まっている山城さんを救出するために全て使うとのことでした。

次の日は、沖縄市内を見学してから辺野古・高江に。バスの車窓から見える基地の多さに驚きました。そして、米軍の宿舎が基地外（人呼んで、キチガイ住宅という）に建設されていました。すばらしい建物。日本の思いやり予算がどんどんつき込まれていて、光熱費もタダだそう。米軍は、夏に一時帰国している間もエアコンはつけっぱなし。戻ってきた時に快適であるためです。この費用も思いやり予算で。沖縄の住宅と比較して、何とも大差がある建物がいっぱい。とにかく、「理不尽だわ」と思いつけた旅でした。紙面の都合でほんの旅の一部の様子ですが、お知らせします。

### 田中さんちの定番料理

#### 白菜とセロリとリンゴのサラダ

##### 【材料】

白菜 六枚 セロリ リンゴ  
マヨネーズ(大さじ1)  
酢(又はワインビネガー)  
小さじ2  
オリーブオイル・小さじ2

##### 【作り方】

白菜は水に漬けてパリッとさせ、食べやすいようにカットして水気をきってボールに入れ、塩少々を振っておきます。セロリは筋をとり3~4ミリの斜め薄切りにします。リンゴは皮つきのまま厚さ3~4ミリのイチョウ切りにし、サッと水に漬けます。白菜とリンゴの水気をしっかり切ってセロリとともにボールに入れ、別のボールに入れてよく混ぜて野菜にかけます。おかずがもう一品欲しい時、冷蔵庫に残っているもので、作ります、野菜は適宜とします。



#### 特派員便り

『石垣島からこんにちは。』

森永 絹代

二月十二日、石垣島ではジウウルクニチー(十六日祭)でした。十六日祭って？

十六日祭とは旧暦の一月十六日に行うグシヨ(あの世)のお正月を現世と一緒に祝う風習では盛大に行われます。宮内、八重山地方で行われていますが、特に石垣島では盛大に行われます。学校、会社は午前中まで。官公庁職員は、午前、午後と交代で休みを取り午後からは家族揃ってお墓へ向かいます。島外へ出た家族、親族もこの日のために休みを取り必ず帰ってきます。ゴザを敷いてお墓の前に勢揃いし三線を弾き歌を歌い、十六日祭を盛り上げます。重箱いっぱいのおドリブル、お餅、お菓子、たくさんのご馳走をお供えします。

子供たちは、お墓に登って記念写真をパシャリ。一族同門がお墓に集い、先祖を偲びご馳走をもって一日を語り過ごします。沖縄でいうオードブルとは、フランス料理の前菜ではなく、おかずの盛り合わせの事。この日のためにスーパーで売り出されます。

本土では「敷入」の風習があります。すよね？十六日祭も敷入からきている風習のようです。琉球時代、首里城に仕えていた者たちが、旧暦の一月十六日に実家へ帰省すると両親はすでに他界しており、お墓の前で両親を偲んだそうです。



### 【パソコン博士のデジモノ講座】 12. 無料で読める！電子書籍入門！

電子書籍とは、紙の書籍ではなく、パソコンやスマホ、携帯読書端末などのディスプレイで読んだり利用したりする本の事だ。通常は利用したい電子書籍サービスを決めた後、専用端末やスマホ用アプリなどを別途購入し、電子書籍をダウンロードして読む事になる。Amazon Kindle(アマゾンキンドル)や楽天kobo、といったサービスはどこかで聞いた事もあるのではないだろうか。

さて今回は、アマゾンや楽天のような有料電子書籍サービスとは違って、全部無料である『青空文庫』を紹介しよう。

青空文庫は、著作権が消滅した作品や著者が許諾した作品を公開しているインターネット上の電子図書館である。著者の没後50年を経て著作権が消滅した明治から昭和初期の作品が蔵書の大部分を占めていて、文学作品(時代小説・探偵小説などの娯楽作品も含む)が多い。現在の収録作品数は1万4000点ほど。ボランティアにより紙の書籍が電子化されている。夏目漱石、芥川龍之介、太宰治、高村光太郎、小林多喜二など、誰もが昔読んだことのある作品もあるのではないだろうか。

スマホで読む場合は、アンドロイドなら「青空文庫ビューア」、iOSなら「青空文庫リーダー」などのアプリをインストールする事で簡単に読めるようになる。

パソコンの場合は、青空文庫：本家サイト(<http://www.aozora.gr.jp/>)で読みたい作品を探し出してクリックしていけば文章が画面に表示される。ほとんどの作品は縦書きで表示されるだろう。画面の左半分をクリックすればページがめくられて、右半分をクリックすれば前のページに戻れる。どこまで読んだかわかるようにする「しおり」機能などもあるので、是非色々触ってみて欲しい。

えあ草紙・青空図書館(<http://www.satokazzz.com/books/>)というサイトは、本家サイトと中身が連動していて、作者や作品が探しやすく画面が工夫されていたり、文章の画面が柔らかい質感で表現されて、紙の書籍を読んでいるような雰囲気を出してくれて、私はこちらで読む方がお勧めだ。本家サイトで作品を探し出した時に「えあ草紙・青空図書館で縦書き表示」ボタンを押す事でも表示する事ができる。

パソコンでもスマホでも利用でき全てが無料なので、電子書籍入門としてはぴったりだ。

#### 編集後記

「街の灯り」が少し行き詰ったので他県に住む、友人・知人・親族・親戚に頼んで、特派員になってもらいニュースを送ってもらうことにしました。たまたま沖縄に行きた。沖縄に住んでいる人から原稿をいただきました。今回は沖縄特集となりました。ありがとうございます。これからもよろしく。